

聖霊降臨節第六主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）
「目を上げ、わたしは見る」
（讃美歌 21 の 156 番）小泉功作曲
あいさつ
讃 美 讃美歌 21/358 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 119 篇（ワウ）

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✦出エジプト記 3 章 1～10、13～14 節
✦ヨハネによる福音書 8 章 53～58 節
（旧 P.96、新 P.183）
応 答 唱 讃美歌 21/46 番
教 話 井上隆晶牧師
『わたしはある』

使 徒 信 条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/355 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「幸いな人」
（讃美歌 21 の 153 番）H.フォーゲル作曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 勝見 仁
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 相澤美子
受付当番 小渕公子

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：小坪英恵
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）
◇教会学校教師会（礼拝後）

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・7 月 15 日（火）午前 8 時 30 分
・7 月 18 日（金）午前 9 時
◇英会話グループ
・お休みです。

【次週主日 7 月 20 日のご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：澤田昌人
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✦出エジプト記 8 章 21～24 節
12 章 12～14 節
✦ヘブライ 9 章 18～22 節
（旧 P.106、P.111、新 P.411）
・教 話

『過越の小羊』

・讃美歌 21 436、46、481
・交読詩篇 詩編 119（ザイン）
・司式補佐 寺田律子
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 松本貴子
・受付当番 畑耕太郎
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）

聖 句

「彼が見ると、見よ、柴は火に燃えているのに、柴は燃え尽きない。
…神はモーセに、『わたしはある、わたしはあるという者だ…』」

（出エジプト 3 章 2、14 節）

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》：15 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」、16 日（水）午後 6 時「シャロン千里地域包括センター職員研修会講話」
②《7 月の行事のお知らせ》
■7 月 15 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」
■7 月 28 日（月）午後 1 時 30 分「シャロン千里礼拝」
③先週の礼拝に初めて瀬里陵太くん（中 2）がお母さんの瀬里佳子さんと共に参拝されました。感謝します。
④夏期特別献金を献げましょう。献金目標は万円です。皆さんのご協力をお願いします。
⑤ミャンマー地震災害募金のご協力をお願いします。8 月末まで募金は受け付けます。
⑥【祈禱課題】
●新しい礼拝堂を建築するため。
●ウクライナとガザの戦争被災者のため。
●拘留所・刑務所にいる兄弟と家族のため。
●子どもたちの健康のため。
⑦【先週の集会統計】

日	集 会	男	女	大人	計	礼拝献金
6	CS 礼拝	0	1	6	7	¥1,880
	集 会	男	女	子ども	計	礼拝献金
6	朝の礼拝	9	19	5	33	¥13,630
8	朝の祈り	2	3	—	5	
11	朝の祈り	2	4	—	6	

- ⑧【7/6 の献金報告】
〔月定〕井上隆晶、相澤美子、飯田雅子、勝見仁、小渕公子、小渕賀裕、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝、寺田律子、畑季史子、畑真理奈、菱田朱美、山千代誠子、山千代憲一、木許宣明、三山幸子（計 183,000 円）〔ミャンマー募金〕飯田雅子、澤田昌人、澤田真弓、菱田朱美、山千代誠子、無記名（計 6,500 円）〔感謝〕黒澤なおみ（計 10,000 円）〔ペンテコステ〕飯田雅子、ウィル・ピーヴィ（計 7,000 円）〔夏期特別〕井上隆晶、飯田雅子（計 23,000 円）

【先週の説教要旨の続き】

「神はすべてを予知しておられるので、神の御用をするためにあらかじめ「ある人」を選び、母親の胎内にいるときから聖別（他のものから取り分ける）されるのです。逢坂元吉郎はこう書いています。「パウロは、自分のような罪悪者が選ばれたということは、どうしても神の予め定め給うた所と考えざるをえないと信じた。…一体人は運命づけられているものがあって、ある個人にとっても、何年かの間は、迷わざるを得ない墮落の期間がある。が、天使に定められている者は、途中で躓いて罪を犯すが、ついには神の御もとに來たらざるをえぬ定めを持っているのである。」「使命とか召命とかいう言葉は、明治時代にはまだなくて、それ以後に出来たものである。使命とは、人の職分に関するものであって、未だこの世のものである。しかし召命とは、世が創られる前にある神の召しによるものであって、単に職分に関するものではなく、生まれてきた全体が神に召されているということである。…かつては家柄と律法厳守と博学と健康を誇っていたサウロに、サウロ、サウロと呼ぶ天からの声が聞こえた。このように呼びかけられるキリストに召され、そのとりこになる者が信者である。われわれはこの厳肅な召命に応じなければならない。」

この世のことを誇る人もいますが、私たちはキリストを誇ります。この世のことを上手に行うために召されたのではないからです。私はキリストを語るために選ばれ、召されたのです。だからキリストを語り続けることをやめません。皆さんも自分がキリスト教徒として召された意味を考え、この厳肅な召命に応じましょう。

〔建築〕井上隆晶、飯田雅子、澤田昌人、澤田真弓、寺田律子、畑季史子、畑真理奈（計 26,500 円）〔互助〕井上隆晶、屋宮英男、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝、寺田律子（計 7,000 円）